

I 石川県の経済動向（平成16年5月～7月）

～ 様々な事象や統計情報等を通じ、
3か月毎の県内の経済情勢を
調査・分析していきます。～

1 概 況 —— 引き続き回復基調だが、産業間の格差明確に

【生産】

県内の製造業は中国・米国を中心とした輸出関連産業が良く、自動車関連、液晶関連の受注が引き続き好調であると言えます。

先行きについては原油や、鉄鋼等の素材価格の世界的上昇の影響もあり、不透明さもあるものの、特に製造業において設備投資に積極的姿勢が見られることから、引き続き回復基調を辿るものと予想されます。

ただし、この流れも全業種にわたるものではなく、企業間・産業間の格差がはっきりしてきています。

非製造業では、建設業において公共工事関連予算が抑制傾向にあることから、引き続き低調に推移しています。

【消費】

個人消費においては、猛暑やアテネ五輪の効果もあってデジタル家電やエアコン・冷蔵庫等の消費が好調であり、また新型車の販売、海外旅行等一部において回復の兆しが見られますが、まだまだ一部の高付加価値商品に限られています。

また、7月の県内4市平均消費者物価指数は連続して前年同月を下回っていますが、原料高騰による電気料金値上げの動きや、原油価格の高騰に伴いガソリンの価格が上昇するなど、家計消費に影響の高い分野での動きにより今後の消費が左右されることも懸念されます。

【雇用】

引き続き製造業の生産増勢を受けて7月の有効求人倍率は0.98まで回復し、また、4～6月期の石川県の完全失業率は4.0%となり全国を下回りました。しかし若年労働者の失業率は相変わらず高く、県内高卒予定者の有効求人倍率も8月末時点で0.81と厳しいものになっています。

【その他】

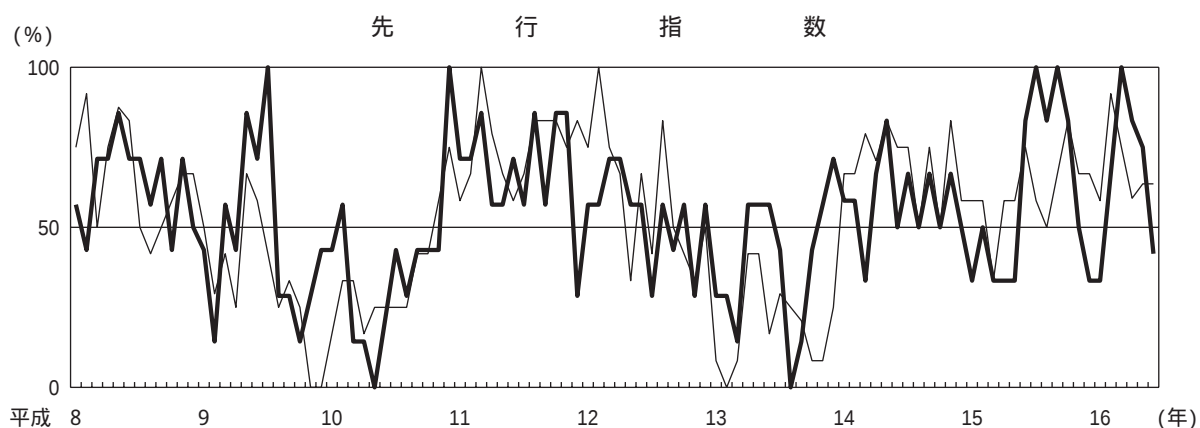
平成16年5月の大型連休は曜日配列に恵まれましたが、県内観光入り込み客数は平年並に留まっています。

また、小松空港利用状況は4月から増便されたソウル便の利用が好調で、ここでは「冬のソナタ」効果が表れていると言えます。

2 産業別動向

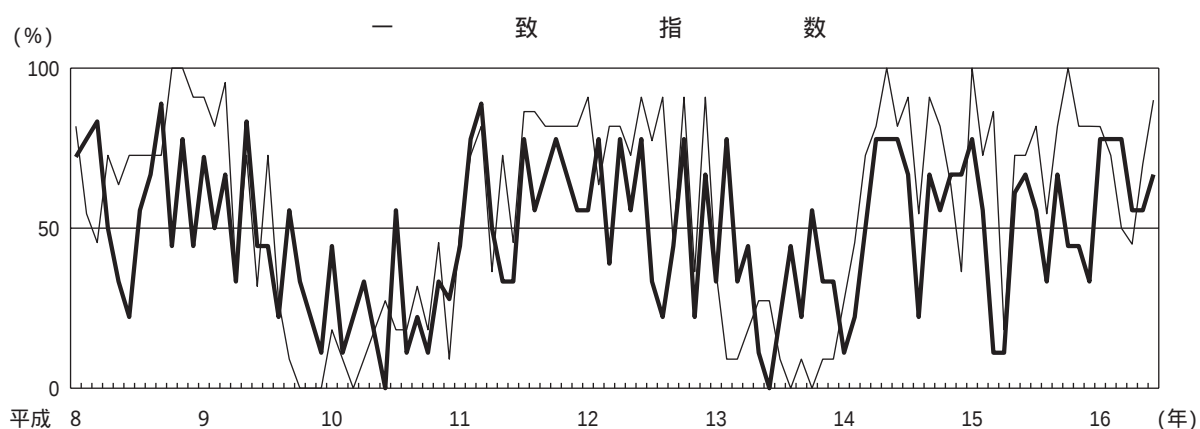
景気動向指数 [平成 8 年 1 月 ~ 平成16年 6 月]

図 - 1



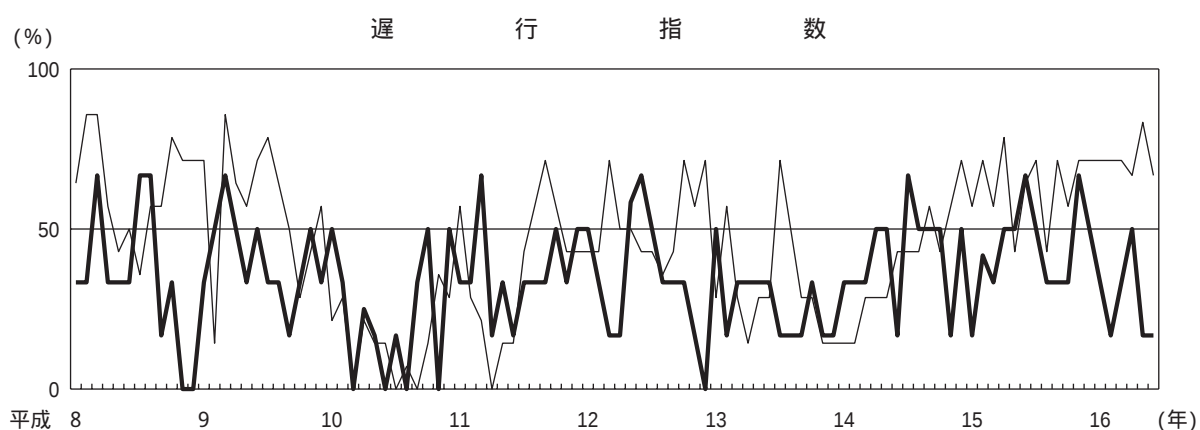
・ 6 月の先行指数は、東証株価指数等 2 指標の変化方向がマイナスになったことから、5 か月ぶりに 50% を下回った。

図 - 2



・ 6 月の一致指数は、建築着工床面積の変化方向がプラスになり 6 指標の変化方向がプラスを示したことから、6 か月連続して 50% を上回った。

図 - 3



・ 6 月の遅行指数は、6 指標中 5 指標の変化方向がマイナスを示したことから、2 か月連続して 50% を下回った。

年 月 系列名		平成13年						平成14年											
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
先行系列	新設住宅着工戸数	+	-	+	+	+	-	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	+
	所定外労働時間	-	-	-	-	-	-	0	0	-	+	+	+	+	+	-	+	+	+
	東証株価指数	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-	+	+	-	+	-
	新車新規登録数	+	-	-	-	-	+	-	+	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-
	新規求人数	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	+	+
	銀行貸出残高	+	-	-	+	+	+	+	-	-	-	+	-	+	-	-	-	-	-
一致系列	有効求人倍率	-	-	-	-	-	-	-	-	0	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	大口電力使用量	+	-	-	-	-	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	+	+
	鉱工業生産指数(総合)	-	+	-	+	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	+	+	+
	鉱工業生産指数(機械)	-	+	-	+	-	-	-	-	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+
	鉱工業生産指数(繊維)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	百貨店販売額	-	-	-	-	+	+	-	-	+	+	+	+	+	-	-	+	+	-
	温泉旅館宿泊客数	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	+	-	+	-
	単位労働コスト	-	+	-	+	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	+	+	+
	建築着工床面積	+	+	+	+	+	-	-	+	+	-	-	-	+	+	-	-	-	+
遅行系列	不渡手形発生率	-	+	+	+	-	+	+	+	-	-	+	-	+	-	+	+	-	+
	雇用指数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	賃金指数	-	-	-	+	+	-	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-	+
	貸出約定平均金利	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-	-
	雇用保険受給者数	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+
	営業倉庫在庫高	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-

年 月 系列名		平成15年												平成16年					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
先行系列	新設住宅着工戸数	-	+	-	+	-	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	+	+
	所定外労働時間	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	0	0
	東証株価指数	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-
	新車新規登録数	+	-	+	-	-	-	+	-	+	+	-	-	-	+	+	-	-	-
	新規求人数	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	+
	銀行貸出残高	-	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-
一致系列	有効求人倍率	+	+	-	-	0	+	+	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+
	大口電力使用量	+	-	-	-	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	鉱工業生産指数(総合)	+	+	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+
	鉱工業生産指数(機械)	+	+	-	-	+	+	+	-	+	-	-	-	-	+	+	+	+	+
	鉱工業生産指数(繊維)	-	-	-	-	-	+	-	-	+	+	-	-	+	+	+	-	-	-
	百貨店販売額	+	-	+	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	-	-	-	-	-
	温泉旅館宿泊客数	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	+	+	+	-	-	-	-
	単位労働コスト	+	+	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	+	+	+	-	+	+
	建築着工床面積	+	+	-	+	+	+	-	-	-	-	+	-	+	-	+	+	-	+
遅行系列	不渡手形発生率	-	+	+	+	+	+	+	-	+	-	+	+	-	-	-	+	-	-
	雇用指数	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-
	賃金指数	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	+	-	+	-	+	+	-	-
	貸出約定平均金利	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雇用保険受給者数	+	+	+	+	+	+	-	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-
	営業倉庫在庫高	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+

(注) 季節変動による影響を取り除き、3か月前に比べて上がった場合は+、下がった場合は-、変動がなかった場合0で示してある。

産業個別動態 [平成16年 5月～7月]

資料出所：日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報」他

織	維	衣料品：新素材・高付加価値製品の生産が引き続き好調である。廉価品・定番品については安価な中国製品に押され気味だが、衣料品全体としてはほぼ横這いの動きとなっている。 非衣料品：薄型テレビ、パソコンの遮断材や自動車関連の内装材として引き続き好調である。	
電	気	機 械	電子部品：デジタル家電、携帯電話の需要が好調なため、主力部品（ＩＣ・コンデンサ等）が引き続き増産体制にある。 ディスプレイ：国内買い替え需要が好調なため、堅調に推移している。
一	般	機 械	繊維機械は中国向けの受注の減少に伴い縮小気味である。 しかし、建設機械・工作機械が内外の旺盛な需要を背景に生産が好調で、全体としては増勢が持続している。
化	学		医薬品：ＯＥＭ（相手先商標生産）が好調である。 その他：塩化ビニール、界面活性剤は国内需要の低迷から引き続き弱含みとなっている。
金	属	製 品	アルミ建材：オフィスビルの需要低迷はあるものの、住宅向けが新製品投入効果や分譲マンションが好調なため増加傾向にある。
建 設	住宅着工	住宅着工は前年に比べて高い水準で推移している。	(図１参照)
	公共工事	市町村の発注増で一時的に増加したが全体的には公共事業費の削減により減少傾向である。	(図２参照)

図１ 新設住宅着工戸数の推移

年 月	戸 数 (戸)	総床面積 (㎡)
平成15年 5月	818	90,128
6	1,071	109,283
7	941	88,731
8	871	79,119
9	939	86,224
10	876	81,277
11	619	60,085
12	565	53,469
平成16年 1月	376	33,815
2	511	52,997
3	885	97,015
4	676	75,475
5	936	102,988
6	1,096	92,122
7	939	101,252

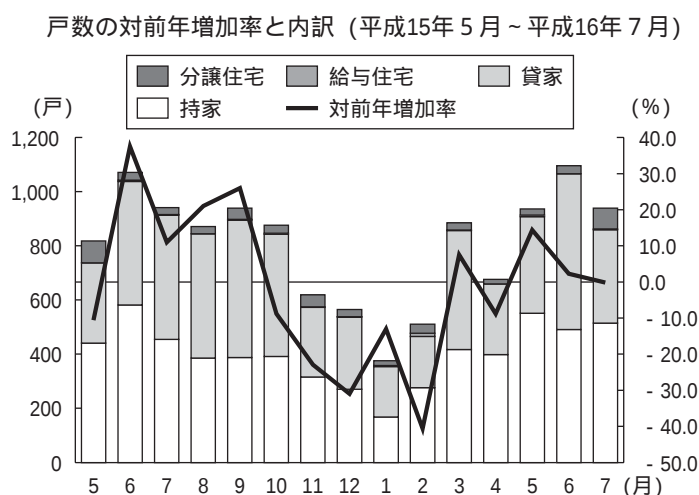
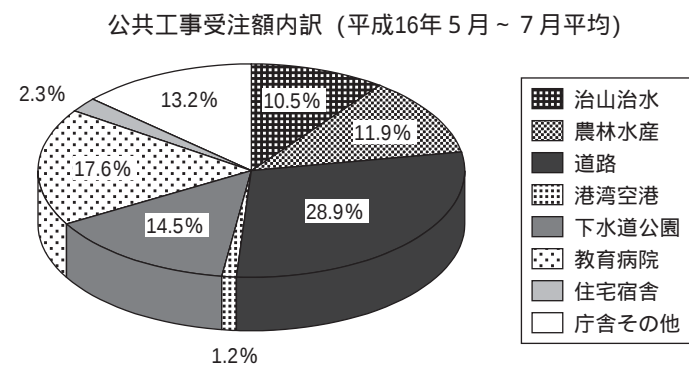


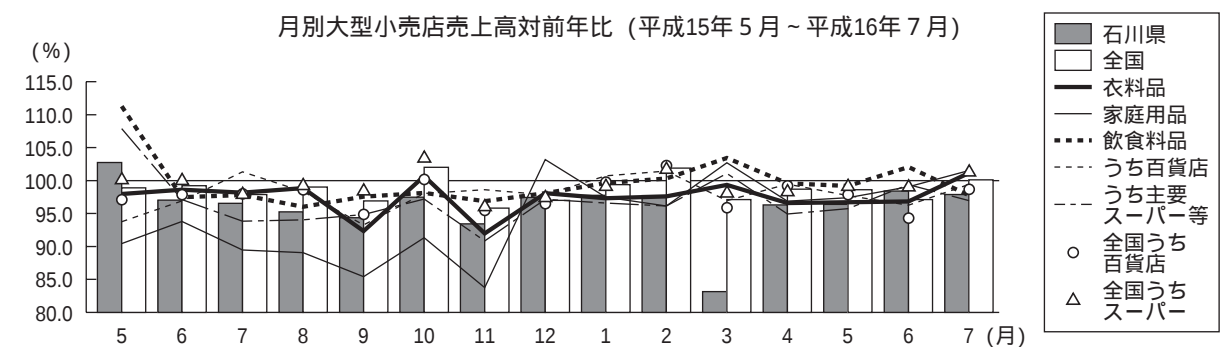
図２ 公共工事受注額推移

年 月	総工事費 (百万円)	前年同月比 (%)
平成15年 5月	17,853	41.7
6	16,686	29.3
7	25,980	22.8
8	15,886	12.3
9	22,398	10.7
10	23,765	31.1
11	13,707	21.0
12	15,498	18.9
平成16年 1月	6,530	51.5
2	6,054	48.2
3	18,288	7.0
4	20,910	16.8
5	8,965	49.8
6	25,396	52.2
7	19,964	23.2



小 売	大型小売店売上高 (百貨店・スーパー)	美術品、時計、宝飾品、高級呉服などの高額品の売上げが引き続き好調なものの、売上げ全体は期間を通じて前年を下回っている。 とくに衣料品は、春物の不振に続き、暑さの続いた7月当初は季節商品の売上げが伸びたが、その後は紳士衣料等がやや好調だった他は、全般的に弱い動きになっている。 (図3参照)
	自動車販売	新車登録台数は、小型車が前年好調の反動から減少を続けているが、特に軽乗用車が新型車投入効果が見られ、普通貨物も比較的好調な動きを続けているが、全体では横這いの動きとなっている。 (図4参照)
	家電販売	パソコン等は新型モデルの投入効果があまり見られずに低調に推移している。デジタル家電は、アテネ五輪による買い替え特需もあり好調に推移している。また、6月下旬からの気温上昇の影響でエアコンの売れ行きも好調である。

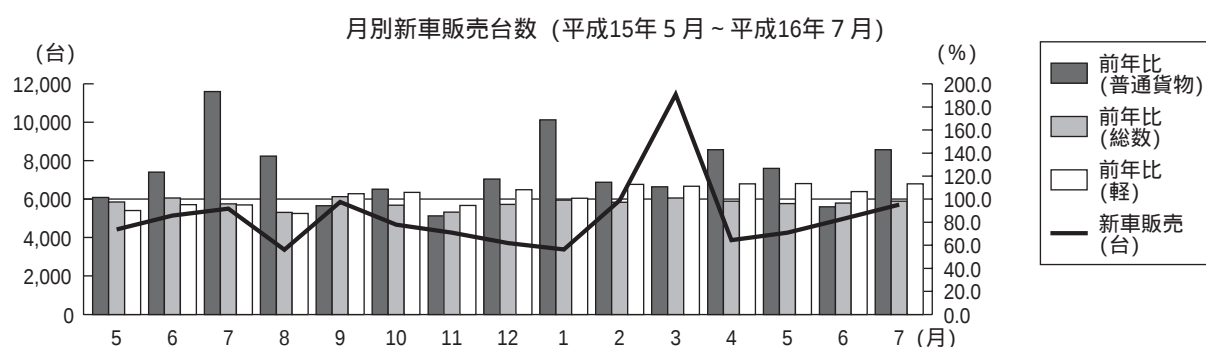
図3 月別大型小売店売上高推移



全国(全体、うち百貨店、うちスーパー店)及び石川県全体以外は店舗調整前の数字にて作成

資料出所：経済産業省

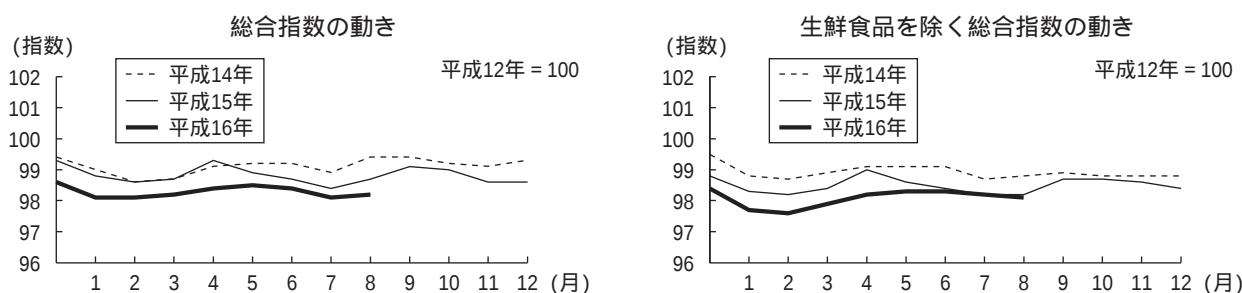
図4 月別新車販売台数推移



資料出所：石川県自動車販売店協会

消 費	消費者物価指数	7月分の県内4市(金沢、七尾、小松、輪島)平均の消費者物価指数は98.1で、前年同月に比べて0.3%下回り、15ヶ月連続のマイナスとなった。 なお、世界的高騰が続く石油製品関連に関しては、徐々に価格への転嫁が始まっており、これからの影響が心配される。 (図5参照)
	家計消費	7月の全国の勤労者世帯の家計消費支出は実質2.2%増になった(金沢市は12.5%減)。猛暑の影響として、エアコンや冷蔵庫、電気代、また五輪効果としてDVD等への支出が増えたのが特徴的である。 (図6参照)

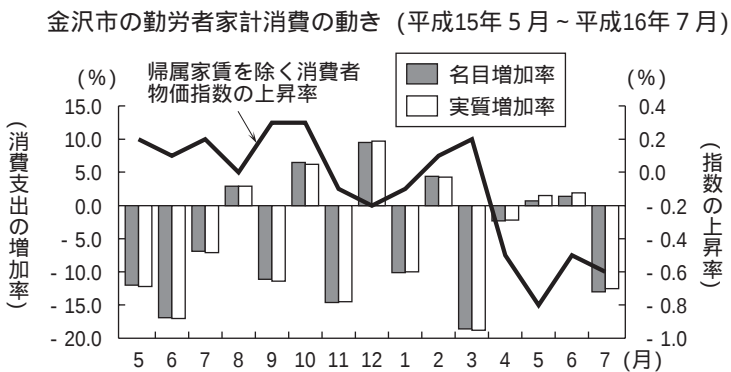
図5 消費者物価指数の推移



資料出所：石川県統計情報室

図6 消費支出と物価指数の推移

年 月	消費支出実数 (円) (金沢市勤労者世帯)
平成15年 5月	327,382
6	332,713
7	384,737
8	356,433
9	338,326
10	374,327
11	312,354
12	415,629
平成16年 1月	316,100
2	348,868
3	364,023
4	403,310
5	329,673
6	337,318
7	334,714



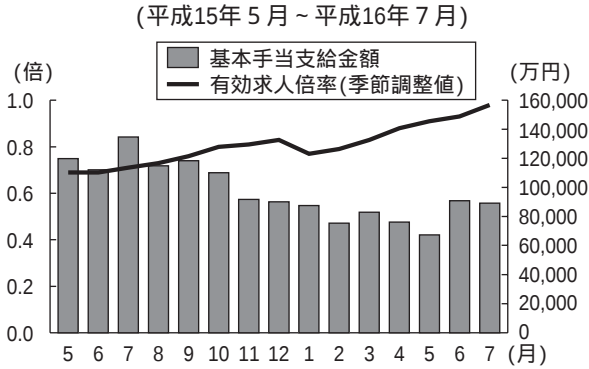
資料出所：総務省統計局他

雇用情勢	有効求人倍率	有効求人倍率は平成16年 1月以降上昇を続けており、雇用情勢の回復ぶりが窺える。(図7参照)
	雇用手当受給	受給者実数及び支給金額は6月に一旦前月を上回ったものの、引き続き前年同月を下回っている。(図7参照)
労働力	完全失業率	全国の4～6月の完全失業率は4.8%と、前年同月を0.7下回り、雇用情勢は回復気味だが、若年層の失業率は依然高い水準にある。 また今年度より調査を開始した石川県内の4～6月の失業率は4.0%となり、全国値を下回った。(図8参照)
労働事情	賃 金	物価を反映させた実質賃金指数は連続して平成16年 2月以降前年同月を上回っており、景気の回復ぶりが窺える。(図9参照)
	労働時間	製造業の所定外労働時間は平成15年 7月以降連続して前年同月を上回っており、その他の産業においては特に建設業及び飲食店、卸・小売業の伸びが著しい。(図10参照)

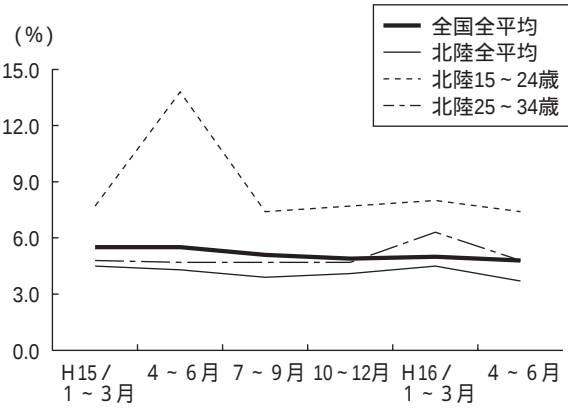
図7 有効求人倍率及び基本手当支給額の推移

図8 完全失業率推移

有効求人倍率と基本手当支給金額の推移



資料出所：石川労働局



資料出所：総務省統計局

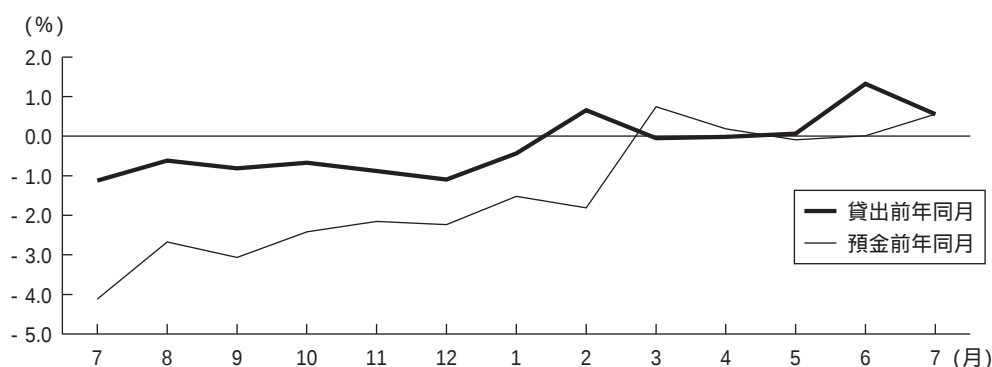
図9 賃金及び時間外労働時間の推移

年 月	実 質 賃金指数	前年同月 比 (%)	所定外労働時間 (事業所規模5人以上の製造業) (時)	前年同月 比 (%)
平成15年 5月	78.1	2.7	12.2	3.6
6	131.4	4.1	13.0	2.5
7	122.0	2.1	13.9	1.8
8	85.8	4.3	14.7	9.5
9	81.2	3.0	16.1	8.9
10	82.2	1.6	17.3	14.6
11	84.6	2.3	17.1	8.1
12	174.8	1.1	16.9	5.6
平成16年 1月	85.8	7.5	13.2	10.9
2	83.5	4.1	15.8	24.9
3	84.1	0.0	16.5	18.2
4	84.2	3.2	16.6	23.9
5	80.9	3.6	14.9	27.5
6	133.9	1.9	15.1	21.6
7	120.8	0.4	15.6	17.9

資料出所：
石川県統計情報室

観 光	観光入り込み客数	県内の温泉地宿泊客数は平年並みに推移している。 また、夏休み期間中の予約状況もほぼ前年並みである。
	旅 行	旅行取扱高は全般に国内・海外旅行ともに堅調に推移している。とりわけゴールデンウィークは曜日配列に恵まれたことや、昨年のSARS等の旅行控えの反動もあり、前年を大幅に上回った。6月には小松 - 上海チャーター便の活況等もあり、7月も海外旅行を中心に堅調に推移している。
金 融	預金・貸出金残高	貸出金残高については個人向けローンが好調で、法人向けの融資も回復基調にあることから7月末の県内の貸出金残高及び実質預金残高（ともに銀行勘定）は前年同月を上回った。（図10参照）

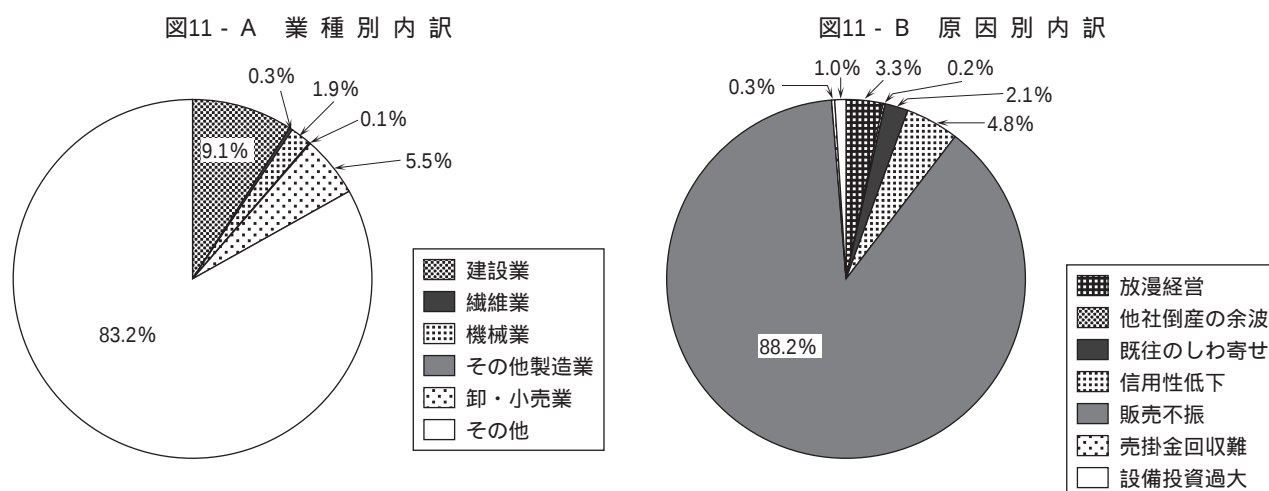
図10 貸出金・預金残高前年比推移（平成15年7月～平成16年7月）



資料出所：北陸財務局

企 業 倒 産	負債総額が前年同期より大幅に増加した。7月にゴルフ場の大型倒産が2件発生し、また、建設業が7か月連続して最多になるなど厳しい状況が続いている。（図11参照）
---------	--

図11 県内企業倒産状況（平成16年5月～7月平均）



資料出所：㈱東京商工リサーチ金沢支店